

(A) アルジェリア地震災害の事例

「救助チーム」

成田出発までの概要(日本時間)

- 日本時間 2003 年 5 月 22 日(木)未明 3:44(現地時間 21 日(水)19:44)地震が発生すると、在アルジェリア日本大使館から、外務省に第一報が入った。
- 第一報は、「国際緊急援助隊体制・関係省庁連絡体制」名簿に従って関係者に連絡が入った。
- 22 日(木)朝から、外務省国際緊急援助室、地域課を中心に、国際緊急援助隊「救助チーム」派遣が検討された。同時に、現地政府の要請を在アルジェリア日本大使館が取り付け、外務省本省に公電で伝え、午後には派遣の決定が行われた。
- 同日夜、19:30 には成田で結団式が行われ、第一陣 18 名(外務省 1 名、警察庁 6 名、消防庁 4 名、海上保安庁 4 名、JICA 調整員 3 名)が 21:55 成田を出発した。
- 引き続き、翌日、23 日(金)11:30 には第 2 陣 43 名(外務省 1 名、警察庁 13 名、消防庁 13 名、海上保安庁 10 名、JICA 調整員 2 名)が成田を出発した。

乗り継ぎ

- 第一陣はパリでの乗り継ぎ(シャルルドゴール空港からオルリー空港へ移動)を行った。東京でパリ-アルジェ間の航空券を確保できなかったため、在仏日本大使館や JICA 事務所の支援で航空券の確保を行った。結果、第一陣が先発隊と後発隊に分かれ、出発した。第二陣もパリで乗り継ぎを行い、約 4 トン 180 個にも及ぶ携行機材の運搬・移動に際し、JICA パリ事務所の多大な支援を受けた。

被災国での活動(現地活動期間¹4 日)

- 第一陣 4 名の先発隊(団長、副団長 1 名、中隊長 1 名、団員 1 名)は 23 日(金)10:25 にアルジェ空港に到着し、14:15 に現地活動対策本部に到着し、救助活動地(テニア市)への派遣を要請された。先発隊は活動サイトであるテニア市に到着し、日本の支援のニーズの把握に努めたが、日本の活動の必要性は低いと判断し、別の活動サイトを求めて移動した。16:50 には、ゼンムリ市のホテルを活動サイトにすることを決定した。第一陣後発隊の到着を待った。
- 第一陣後発隊 14 名は 14:25 アルジェ空港に到着、先発隊に合流したのは、19:20 であった。合流後、第一陣全員 18 名揃って救助活動を開始した。機材の到着が遅れていたこともあり現場で活動していたトルコチームと合同で活動を行った。(日本チームが同サイトに到着したタイミングは、ドイツチームが救助犬 5 頭による探索をするが、生存反応がなかったため撤退した直後であった。)
- 21:30 には倒壊した瓦礫の下に、生存者の確認を行った。23:59、救出に成功し、24:01 に救急車に収容された。生存者がまだいる可能性を考慮し、救助活動を継続した。
- 24 日(土)朝 4:30、第二陣 43 人と救助犬 2 頭が、機材とともに現場に到着。警察庁、消防庁、海上保安庁の 11 人からなる混成チームを編成した。救助犬と、電磁派人命探査装置「シリウス」による検索を継続した。各班がそれぞれ 1 時間ずつ、探索活動を行った。
- 24 日(土)6:00、団長より現地対策本部(LEMA)、国連現地活動調整センター(OSOCC)に、生存者救出の報告を実施。
- 25 日(日)20:10 まで活動を継続し、6 名救出(うち 1 名生存)し、活動を終了した。
- 26 日(月)大使館着、総括会議の実施。LEMA、OSOCC への報告
- 27 日(月)大使館報告。14:00 アルジェ空港発。

¹現地活動期間には、被災国政府への報告や、「医療チーム」の場合は撤収作業日も含む。

「医療チーム」

成田出発までの概要(日本時間)

- 日本時間 2003 年 5 月 23 日(金)「医療チーム」派遣の要請があった。24 日(土)に派遣決定。
- 5 月 25 日(日)21:55 に「医療チーム」22 名(団長は現地合流、外務省からの評価隊員 1 名は、5 月 30 日出発)成田を出発した。

乗り継ぎ(現地時間)

- パリに 5 月 26 日(月)午前 04:15 到着。「医療チーム」内ミーティング。13:40 ドゴール空港を出発。

被災国での活動(現地活動期間 10 日間)

- 26 日(月)14:30 アルジェ着。空港内レセプションセンターにて、アルジェリア保健省の担当者との面談。
- 16:55、団長、副団長 2 名、看護師 1 名が活動サイト、ゼンムリの現場視察。18:30 サイト発。19:45 ホテル着。
- 27 日(月)8:30 ミーティング、資機材の確認等の実施。9:20 ホテル発 11:30 サイト着。12:45 サイト確保。医療テント等の設営開始。**17:04 診療開始。18:00 診療終了。サイト発。(3 名診療)**
- 18:10 ホテルへ向かう途中、大きな余震があり、車両真横の建物が全壊。19:50 大使館着。22:00 ホテル着。
- 22:26 チームの約半数 11 名(団長、医師 2 名、看護師 2 名、薬剤師 1 名、医療調整員 2 名、業務調整員 3 名)と通訳 3 名、セキュリティー 4 名、ドライバー 4 名で、活動サイトに向けて出発。23:40 活動サイトに到着。**夜間診療を実施。**
- 27 日(水)～6 月 4 日(水)の **9 日間、診療実施**(基本的に診療時間は 9:30 から 16:00)。
- 6 月 5 日(木)09:40～11:40 撤退作業。午後、総括ミーティング、機材引渡し式、活動レポート提出。
- 6 月 6 日(金)アルジェ出発。6 月 7 日(土)成田着。

「専門家チーム」

成田出発までの概要(日本時間)

- 6 月 4 日(水)、アルジェリア国政府より「専門家チーム」派遣要請あり。6 月 6 日(金)に派遣決定。
- 6 月 12 日(木)19:00 には、「専門家チーム」(団長 1 名、国土交通省派遣専門家 4 名、JICA 調整員 2 名)の結団式が行われ、21:55 の飛行機で成田出発。

乗り継ぎ(現地時間)

- 6 月 13 日(金)7:50 パリ経由(JICA パリ事務所雇用の 2 名の通訳合流)、11:25 ローマ経由、12:20 アルジェ着。

被災国での活動(現地活動期間 4 日)

- 6 月 14 日(土)午前、住宅・都市計画省等関係者との協議を実施。午後現場(ゼンムリ地区)視察。
- 6 月 15 日(日)2 グループに分かれて活動。インフラグループは公共事業省を訪問し、橋梁、道路、港湾施設の見学。建物の耐震診断グループはアルジェ市内見学、CTC(建設技術規制機関)、CGS(耐震工学応用研究センター)本部を訪問した。
- 6 月 16 日(月)2 グループに分かれて活動。ひとつのグループはブメルデス大学の視察、もうひとつは、ブメルデス県防災局を訪問し、被災民の避難状況を確認した。
- 6 月 17 日(火)アルジェリア住宅・都市計画省、外務省、日本大使館にて調査報告。
- 6 月 18 日(水)アルジェリア発、19 日(木)成田着。

(B) ベトナム SARS 集団発生の事例(「専門家チーム」)

成田出発までの概要(日本時間)

- 2003年3月12日(水)にWHOは「緊急注意喚起」を発した。同時にベトナム政府は国際的な支援を要請し、13日には日本政府に対して要請を出し、日本政府は3月14日(金)には書面での要請書を取り付け、同日時中に派遣を決定した。
- 3月16日(日)の7:30に「専門家チーム」第一陣(医師2名、JICA調整員1名)で結団式を行い、9:30には成田を出発した。
- 「専門家チーム」第2陣は、3月24日(月)に要請、派遣決定が行われた。3月26日(水)に結団式を行い、成田を出発した。「専門家チーム」第2陣の構成は、団長1名、医師1名、第一陣から引き続いて参加のJICA調整員1名。

被災国での活動

- 3月16日(日)16:15ハノイ空港に到着。大使館・JICA事務所との打ち合わせ
- 3月17日(月)ベトナム保健省、WHO、日本の三者合同調整会議に参加。JICA事務所、WHO事務所等との打ち合わせ。バックマイ病院に対して人工呼吸器2台供与。
- 3月18日(火)緊急報告書作成作業、JICA事務所、大使館協議。
- 3月19日(水)ベトナム保健省、WHO、日本の三者合同調整会議に参加。JICAプロジェクト「バックマイ病院プロジェクト」専門家との面談、ハノイ市保健局に対して、防護服7着の供与。
- 3月20日(木)WHOとの打ち合わせ、バックマイ病院情報収集、バックマイ病院に対して感染防御資機材供与。
- 3月21日(金)ベトナム保健省、WHO、日本の三者合同調整会議に参加。SARS患者退院基準作成部会、バックタンロン病院、ザーラン病院視察。バックマイ病院意見交換(SARS患者治療方針等)、大使館・JICA事務所協議、追加携行機材のハノイ到着。
- 3月22日(土)資料整理、情報分析、バックマイ病院JICA専門家との協議。
- 3月23日(日)資料整理、情報分析、WHO関係者との協議。
- 3月24日(月)保健省副大臣面談、保健省に対して資機材供与、大使館報告。
- 3月25日(火)第一陣専門家 ハノイ発。
- 3月26日(水)継続活動中のJICA調整員を中心に、JICA事務所、WHOと打ちあわせ。夜、第二陣専門家 ハノイ着。
- 3月27日(木)大使館・JICA事務所、ベトナム保健省、バックマイ病院、WHOとの打ち合わせ。
- 3月28日(金)バックマイ病院情報収集、協議、保健省院内感染防御ワークショップ協議。大使館、JICA事務所と協議。
- 3月29日(土)WHOとの打ち合わせ(院内感染防御ワークショップ)、資料整理。
- 3月30日(日)WHOとの打ち合わせ(院内感染防御ワークショップ)、資料整理。
- 3月31日(月)院内感染防御ワークショップ開催、ベトナム保健省報告、保健省に対して資機材供与。
- 4月1日(火)ハノイ発、成田着。